



アロットメントが見つけれない場合、他のどこでガーデニング活動ができるのか？

課題

多くのヨーロッパの都市では、アロットメントを見つけることが難しく、見つけたとしても希望者が多く長い間待たなければならない。それに関わらず、行政はアロットメント用地を確保するよりも、住宅需要を満たすために土地を開発することを優先してしまう。

課題1：緑地が不足しているなか、どこでコミュニティガーデンを始めるための代替的な場所を網羅的に見つけれられるか？

- 普通植物を育てないような空間で、植物を育てるのは可能だろうか？
- 舗装されたオープンスペースにコンテナを置いて使うことはできるだろうか？
- 他に選択肢はないだろうか？

課題2：もし良さそうな空間をいくつか見つけた場合、どのように利用の合意をとれるか？

このファクトシートは、コミュニティガーデンを始めたいが農作物を育てるのに適した土壌が市街地内に見つからない人々を主な対象としている。また、普通使われないような空間にコミュニティガーデンの設立支援をするための根拠を提供するという観点から、政策立案者に向けたものにもなっている。



図2 - スキップガーデン(イギリス、ロンドン)。写真: Silvio Caputo



図3 - スキップガーデンの温室(イギリス、ロンドン)。写真: Silvio Caputo

ガーデナーへのアドバイス

伝統的なアロットメントの代わりとなるもの:

通常、ガーデニングは公式な土地使用許可のもと、アロットメントで行われるものです。しかし、代わりとなる場所も使うことができます。たとえば以下のような場所があります。

固く舗装されたエリア: 何もなく放棄された囲い地や広場はガーデンに使えます。プラスチックや木でできた箱に堆肥を入れましょう。リサイクルした木や防湿層でも簡単にレイズドベッドをつくることができます。他にも、既に廃材用コンテナのような出来合いのものを使うなど、色々なやり方があります。

屋上: どの都市でも平らになっている屋上は沢山あり、使える可能性があります。しかしいくつか気を付けなければいけないことがあります。土壌は重いので、屋上の耐荷重はガーデニングに耐えうるものでなければなりません。独立したアクセスも保障されなければいけません。そして健康や安全の面から要求される水準に従う必要があります。もしすべての条件を満たすことができたなら、屋上は理想的なガーデンとなるでしょう。

学校と病院のガーデン: 学校や病院に生産や教育、セラピー的な目的でガーデンを活用したいと申し出ることは可能です。こうした協働は病院や学校が負っていた管理コストを減らし、屋外環境の質も高めることができます。

壁面: どんな垂直の面も使うことができます。壁面用のコンテナも売られています(例: www.woollypocket.co.uk)。マーク・リスディル・スミス氏が野菜を家の壁で育てる挑戦を紹介しているブログもあります。(<http://www.verticalveg.org.uk/my-growing-diary/>)。

障壁となるもの

潜在的に、日照がよいところならどんな空間もガーデニングに適しています。その場所を使うための障壁は乗り越えなければなりませんが、それにしても沢山あります。例として以下のものが含まれます。

計画上の合意: 空間を使うには書面上の合意がなければなりません。そのため、初めに都市計画家や行政と対話する必要があります。交渉のときに相互に利益があることを伝えられれば、合意は得られるでしょう。まず対象となるような空間は大抵放棄されていること、その空間をガーデニングに使うことでトップダウン的な投資を発生させることなく空間再生のプロセスが始まることを伝えましょう。次に、この取り組みは社会活動によって恩恵を受けるような人(例: 高齢者や社会的に孤立している人々)を地域のボランティアとして惹きつける可能性があるということ、同時に自治体の利益にもなるということも大事です。最後に、土地所有の問題は暫定的な利用を前提に合意が得られれば解決するでしょう。合意を容易に得るには、土地所有者の利益が保障されることが大事です。

関連情報

役立つリンク集

グリーンルーフ:
www.thegreenroofcentre.co.uk/
<http://livingroofs.org/>
www.greenroofguide.co.uk/

屋上菜園:

<http://www.gardeningknowhow.com/special/urban/creating-your-own-rooftop-garden.htm>
http://archives.rooftopgardens.ca/files/howto_EN_FINAL_lowres.pdf
<http://archives.rooftopgardens.ca/index.html%3Fq=en.html>

レイズドベッド

http://carryongardening.org.uk/files/documents/How%20to%20build%20raised%20beds%20final_Nov08.pdf
<https://www.rhs.org.uk/advice/profile?PID=428>

手作りの温室

<http://www.motherearthnews.com/diy/diy-greenhouse-zmaz09onzraw.aspx>
http://garden.org/howto/videos/index.php?page=video004_007



図4 - プリンツェッシンネンガルテン (ドイツ、ベルリン)。写真: Silvio Caputo



図5 - 垂直の庭 (イギリス、ロンドン)。出典: <http://www.verticalveg.org.uk/my-growing-diary/>

ガーデナーへのアドバイス

暫定性: 暫定的な利用は用地確保を成功させる鍵となりますが、同時に数年後にはプロジェクトが終わることも意味します。そのため、暫定的な土地の利用としてガーデンプロジェクトを始める個人やグループは、強い絆と将来計画を築くために時間を使う必要があります。グループもプロジェクトも土地の利用契約期間が終わっても残れるように、他の場所を見つけたりプロジェクトそのものを変更したりできるようにしましょう。つまり、プロジェクトの実行プロセスは、そのプロジェクトそのものと同じくらい重要で、それ次第で長く続く可能性を生み出せるのです。



図6 - 温室の代用施設 - ルーフトップ・コミュニティガーデン (イギリス、ロンドン)。写真: Silvio Caputo

政策立案者へのメッセージ

空間の暫定的利用を許可する余地をもつとよいでしょう。放棄されたエリアを再生することで相当の効果があつたという事例は、ドイツのブレーメンなど、いくつかのヨーロッパの都市で見られます。

ブレーメンでは、自治体が土地所有者との橋渡し役を担い、都市空間の暫定的利用に至るプロセスを調整しました。

暫定的あるいは恒久的なオープンスペースをガーデニングに供することでもたらされる利益は、自治体で注意深く検討するに値します。たとえば、もし公共サービスを新たに生み出すための予算、あるいは、既存のサービスを続けるための予算が縮小されてしまったとき、コミュニティグループがオープンスペースを利用すると、公的な投資をすることなくそれを管理してもらえるという利点があります。

屋上のような空間を使うための、地域における計画的手続きはスピーディーに進むようにしたほうがよいでしょう。

使われていない空間をマッピングし、地域のコミュニティに利用可能性を知らせる方法も考えられます。



関連情報

役立つリンク集

www.zzz-bremen.de

壁面緑化での栽培:

<http://www.verticalveg.org.uk/my-growing-diary/>

<http://www.livingwallart.com/category/do-it-yourself/>

DIYの水耕法:

<http://www.diynetwork.com/how-to/outdoors/gardening/how-to-assemble-a-homemade-hydroponic-system>

<http://www.instructables.com/id/DIY-Hydroponics/>



図7 - テンペルホーフ空港跡地に設置されたコミュニティガーデン (ドイツ、ベルリン)。写真: Silvio Caputo

図8 (左) - 屋上コミュニティガーデンのレイズドベッド (イギリス、ロンドン)。写真: Silvio Caputo

著者

Silvio Caputo, University of Portsmouth

silvio.caputo@port.ac.uk

翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimo), 筑波大学, shimo@nenv.jp

インフォシ리즈 | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日

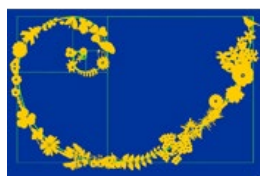


COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は
欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。
その使命は科学的小および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、
それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

www.cost.eu



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」
の成果にもとづいて作成されました。

www.urbanallotments.eu



「欧州のアーバンガーデン」に参加しましょう:

<https://www.facebook.com/groups/825421310826607/>